



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 赤津 善宣
幹事 山下 喜一
SAA 富岡 幸広
会報小委員長 鈴木 正人

○例会日 毎週水曜日(12:30～13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目6番地の9
○例会場 ホテルミドリ 〒974-8261 ホテルミドリ内
TEL0246-62-3737

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

第 2427 回 例会 平成 23 年 10 月 5 日(水・曇)

2011～2012 年国際ロータリーのテーマ

ゲスト

東日本国際大学 経済情報学部
教授 福迫 昌之(学科長)様
米山記念奨学生 朱 美善さん

君が代

ロータリーの綱領

赤津 善宣 会長

—今月は職業奉仕・米山月間です—

◎会長報告 - 赤津善宣会長



皆さん、今日は。10月に入りますとあちこちから初冠雪の便りが入って来ます。このところ朝夕はめっきり寒くなりましたので体調には十分気を付けて頂きたいと思えます。まず最初に本日のお客様をご紹介したいと思います。東日本国際大学経済情報学部学科長福迫昌之教授様です。後程卓話を頂戴することになっておりますので宜しくお願いします。次に米山記念奨学生の朱美善さんです。後程奨学金をお渡し致します。また10月1日には彫刻家の北郷先生が来訪され当クラブの会長、幹事、渡邊公平実行委員長、鈴木修一郎実行副委員長、吉野記念事業委員長、遠藤記念事業副委員長と植田駅前にブロンズモニュメント設置場所についてミーティングを致しました。詳しい内容については吉野記念事業委員長より報告があるかと思えます。次に今月は職業奉仕と米山月間となっております。来週12日水曜日は職業奉仕委員会による職場見学移動例会、翌週18日火曜日は東京江戸川ロータリークラブとの懇親交流例会で18時30分より夜の例会になっています。26日は通常例会に戻り会員卓話ですので皆様スケジュールにお間違いのないように宜しくお願い致します。

◎米山記念奨学生朱美善さんへ奨学金の授与と挨拶

皆さん、今日は。今日は9月に提出していた米山奨学生のレポートを皆様にお話したいと思えます。私は東日



本大震災を通じて改めて日本人の凄さを感じました。今まで見たり聞いたりした外国のニュースではこのような災害が発生した場合商店等が略奪の対象になって救護物資を手に入れようとする人々が揉合いになるのが当たり前だと思っていました。しかし、日本では全くそのような事は起こりませんでした。そして被災地の辛い状況でもお互いを励ましながらいける姿を見て日本人の素晴らしい国民性を見習う必要があると思えました。大学も残り半年となり会社の内定も頂きこれからは地域活性化の為の活動やボランティア活動を続けて行きたいと思えます。福島復興の為に頑張ります。

◎幹事報告 - 山下喜一幹事

・10月18日は水曜日ではなく火曜日の例会で夜になります。江戸川ロータリークラブさんより18名の多数の参加ですので会場のレイアウトを変更する予定です。
・来週10月12日は移動例会です。12時50分に出発し13時からガーデンシア見学予定です。
・9月14日の幹事報告で報告していますがいわき分区分として浪江、小高、富岡の3ロータリーに対する義援金について先週臨時理事会を開き承認して頂きましたので義援金を支出致します。
・50周年の記念式典の出欠を会員ご夫妻に連絡を頂いておりますがご夫婦での出席が少ないようですのでご都合をつけてお願いします。
・いわき常磐RCの年次計画書、いわき鹿島RCといわき平RCといわき平中央RCといわき小名浜RCの10月プログラム、いわき小名浜RCの会報を回覧中です。



・本日例会終了後理事会を開催致しますので宜しくお願いします。

◎各委員会報告

◇出席委員会 - 峯口小委員長

本日の出席状況は前頁下記の通りです。

◇スマイルボックス委員会 - 川中副委員長

・東日本国際大学教授福迫昌之様の卓話を歓迎して。金成、嵐、鈴木(修)、高木、川中、児玉、岩元、清水、佐野、富岡、鈴木、荒川(義)、後藤、船橋、濱沖、鈴木(雅)、越田和、渡辺(勉)、佐藤(政)、吉野各会員及び渡邊公平ガバナーノミニー、赤津会長、高萩会長エレクト、生駒副会長

・いわき市「市政功労賞」を受賞致しました。

清水会員

・誕生祝いありがとうございました。

丹野、佐藤(次)、渡邊(國)各会員及び山下幹事
・前回例会休んでごめんなさい。

富澤、馬上、佐藤(次)各会員

・本日早退ごめんなさい。 佐久間会員

◇50周年記念事業委員会報告 - 吉野委員長

先程会長よりお話がありました。50周年を記念して今回の震災を鎮魂する為のモニュメントを残そうとなり北郷先生と当クラブ関係会員でいろいろ意見交換を致しました。費用の方は市の彫刻のある街づくり事業という制度がありますのでそれを利用して戴くことに支所とも相談して参りました。ブロンズの大きさは約2メートル、場所は植田駅前を予定しております。それから職業奉仕委員会より案内ですが来週12日は移動例会になります。呉羽病院隣の介護老人保健施設ガーデンシアへ見学に行きますので、車は病院の駐車場へ入れて下さい。宜しくお願いします。

◇50周年記念式典委員会 - 生駒副会長

10月7日金曜日18時30分からミドリで式典委員会を開きたいと思えます。いろいろ相談することがありますので各委員会の皆さん出席をお願いします。



◇50周年記念誌編集委員会 - 高萩会長エレクト

記念誌編集委員会を9月28日18時30分より開催致しました。部数が150部、1部3,000円位でと数字は出しております。表紙に吹殿と当クラブのバナー、内容は40周年を参考に考えております。



◇親睦活動委員会 - 荒川義次小委員長

10月16日の3クラブ親睦ゴルフコンペは当クラブより19名参加で昨年同様優勝目指して頑張ってきました。また今日は誕生祝いを差し上げたいと思えます。佐藤次男会員、丹野富二男会員、渡邊國和会員、山下喜一会員前の方へどうぞ。おめでとうございます。



◎ゲスト卓話 東日本国際大学経済情報学部 教授 福迫 昌之様

復興のまちづくり —いわき地域の課題・展望—

☆「3.11」という特別な体験～「3.11」という物語の共有へ
この物語を共有する意志が復興のまちづくりの原動力
いわき市の復興ビジョンは・・・



「必ずまちは復興できる、人々の熱い思いを体現した復興のまちづくりの体制が1日も早く構築されることを切に願う。」

「復興のまちづくり～被災地のまちからの提言」(「月刊政経東北」4月号)

☆市民が自らのまちを、行政など地域のステークホルダーとともにデザインしつづけていくことが必要不可欠＝市民協団体
☆まちに人が残ることができる、まちに人が戻ることができる状態を作り出す責任は国にある

「いわき市が担うべき復興へのリーダーシップ」(いわき民報「地域経済ウォッチング」2011.7.7)

☆「いわきが死ねば、福島県浜通りは死ぬ」
☆いわき市が特別な地域である所は、福島県浜通りの代表としてであり、相双地域との協調、共闘を抜きにしての復興はありえない。

いわき地域復興のために

☆明確な政策・施策の提示
☆地域経済の活性化 - 産業再生・創出が復興の大前提
☆いわき市「安全宣言」 - いわき市の「安全性」をどう打ち出すか
☆放射能の検査体制・機関を福島県浜通り地域の拠点都市・いわき市へ
☆産業の空洞化を防ぐ - 復興の道筋を示し、安心していわき市における経済活動を展開できる基盤をつくる

具体的な取組み

☆大学等と地域の連携したまちづくり推進事業
「いわき市物産品および観光商品の高度化と体制整備による風評被害克服・地域活性化のための調査・実証実験事業」
☆(仮称)いわき地域復興センター

出席状況

正会員数 55名
本日の出席率 80.00%

本日出席会員数 40名
修正出席率 86.00%